

授業科目名・形態	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 演習	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	脇山園恵・石岡和志・林宏二・古川博文	開講期	4年 前期	単位数 1

【授業の主題】

本講は、精神保健福祉援助実習の意義について理解するとともに精神障害者のおかれている現状、生活の実態や生活上の困難について学習し、個別指導及び集団指導を通して精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術などを体得することを目的とする。また、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握など、総合的に対応できる能力を習得し、具体的な体験や援助活動を専門的知識及び技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。

【到達目標】

- 1) 実習における個人のプライバシー保護と守秘義務について、関係書類の取り扱い方に反映できる。
- 2) 実習先の施設・機関と周辺地域の特性を理解し、施設概要に反映させることができる。
- 3) 実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画書を作成できる。

【授業計画・内容】

- 第 1回 オリエンテーション
- 第 2回 実習概要の確認
- 第 3回 実習施設の概要作成①
- 第 4回 実習施設の概要作成②
- 第 5回 実習計画書の作成①
- 第 6回 実習計画書の作成②
- 第 7回 実習計画書の作成③、事前訪問の目的・内容など
- 第 8回 実習日誌の書き方、カンファレンスシートの書き方①
- 第 9回 実習日誌の書き方、カンファレンスシートの書き方②
- 第 10回 実習日誌の書き方、カンファレンスシートの書き方③
- 第 11回 関係書類の準備と扱い方、個人のプライバシー保護と守秘義務の理解
- 第 12回 実習課題の確認、実習中の注意事項、緊急時の対応など
- 第 13回 グループディスカッション～情報共有～①
- 第 14回 グループディスカッション～情報共有～②
- 第 15回 現場体験学習：ゲストスピーカーを招聘 ※ゲストスピーカーとの日程調整により回の変更があり得る

【授業実施方法】

基本的には講義と演習（個人、グループ）で行う。

【授業準備】

精神保健福祉法並びに障害者総合支援法について復習し、実習先の法的位置付けや精神障害者の置かれている現状などを理解して、授業に臨むこと。

【主な関連する科目】

精神保健福祉援助実習

【教科書等】

一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会編：精神保健福祉援助実習指導・実習（第2版）、中央法規出版、2015。

【参考文献】

授業中に必要に応じて紹介する。

【成績評価方法】

提出物（ワークシート、ミニレポートなど）70%、グループ発表（報告書）30%で評価する。60%以上の得点を合格とする。

【学生へのメッセージ】

実習を効果的に進められるよう、これまでの学習や生活上の経験を活かしながら積極的・主体的に取り組んでください。1週間に複数回開講するので、遅刻・欠席がないよう自己管理してください。